

2015年度 第1四半期実績 および見通し

2015年7月31日

直川 紀夫

株式会社 資生堂

執行役員 最高財務責任者

SHISEIDO



2015年度 第1四半期実績 要約

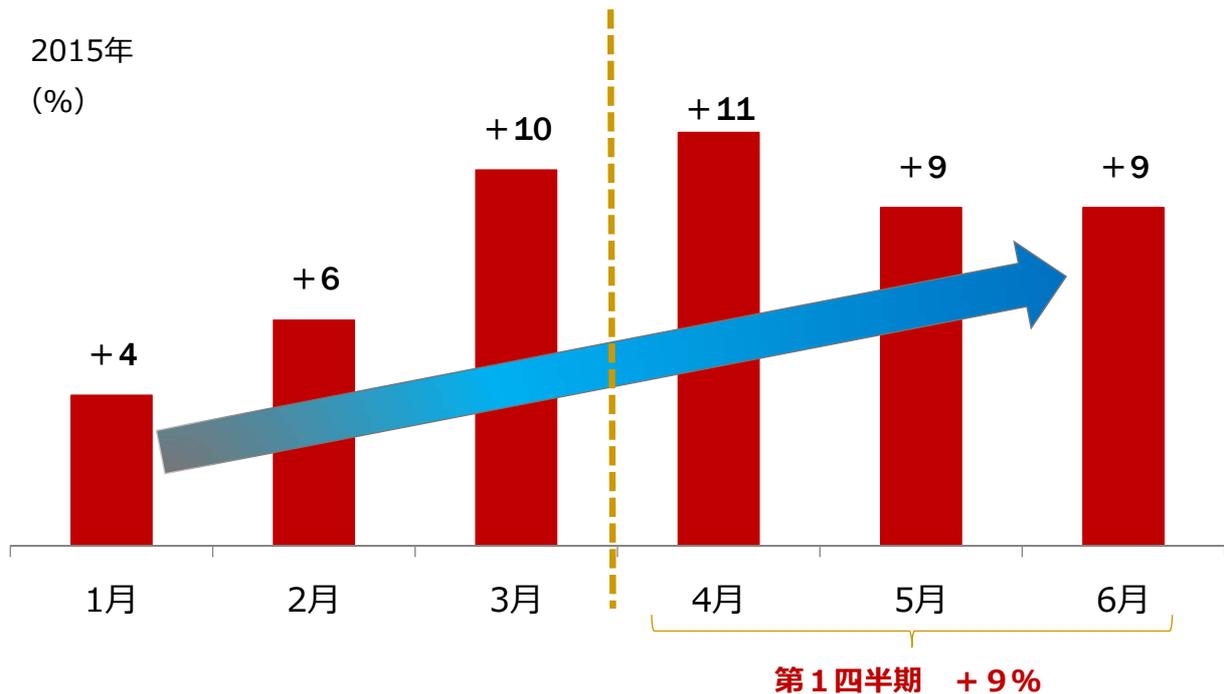
(億円)	15/12期		15/3期		前年差	前年比	外貨 前年比
		構成比		構成比			
売上高	2,023	100%	1,684	100%	+339	+20.2%	+15.0%
国内	920	45.5%	795	47.2%	+125	+15.7%	+15.6%
海外	1,103	54.5%	888	52.8%	+214	+24.1%	+14.5%
営業利益	130	6.4%	14	0.8%	+117	+857.6%	+844.8%
経常利益	136	6.7%	14	0.9%	+121	+840.6%	
税金等調整前 利益	155	7.7%	21	1.3%	+134	+638.4%	
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	37	1.8%	△18	△1.1%	+55	—	

為替レート ドル=119.1円 (+15.9%)、ユーロ=134.2円 (△4.7%)、中国元=19.1円 (+12.9%)

国内化粧品店頭売上伸長率

資生堂 店頭売上前々年比

2015年
(%)



| 2

日本事業 売上高・営業利益 第1四半期実績

(億円)	15/12期		15/3期		前年差	前年比
		構成比		構成比		
プレステージ	254	12.5%	197	11.7%	+57	+29.1%
コスメティクス	430	21.2%	374	22.2%	+56	+15.0%
パーソナルケア	91	4.5%	98	5.8%	△7	△7.0%
デジタル	18	0.9%	14	0.9%	+3	+22.3%
ヘルスケア他	34	1.7%	36	2.1%	△2	△5.1%
日本	826	40.8%	719	42.7%	+108	+15.0%

(億円)	15/12期	15/3期	前年差	前年比
営業利益	91	40	+50	+124.8%
利益率	10.6%	5.4%	+5.2ポイント	

注 組織改革に伴い従来の「国内化粧品事業」を「日本事業」として再編し、これに合わせて報告セグメントの区分方法を変更している。詳細は補足1参照。

| 3

日本事業 今後の取り組み

独自価値を強化し、ブランドエクイティを高める



SHISEIDO

目もと用美容液
「アルティミューン
パワライジング アイ コンセントレート」
9月発売



BENEFIQUE

新ライン「ACシリーズ」「IMシリーズ」
9月発売



TSUBAKI

アウトバス商品 9月発売

ELIXIR

美容液「エンリッチドセラム」8月発売
クリーム「エンリッチドクリーム」10月発売



| 4

インバウンド

国やエリアを越えて
お客さまとの出会いが継続する

訪日前

訪日中

訪日後



お客さまの行動を「訪日前」、「訪日中」、「訪日後」の3つの
フェーズに分け帰国後も購入いただける良循環を構築する

| 5

グローバル事業 売上高・営業利益 第1四半期実績

(億円)	15/12期		15/3期		前年差	前年比	外貨 前年比
		構成比		構成比			
化粧品	1,046	51.7%	818	48.6%	+228	+27.8%	+18.2%
プロフェッショナル	92	4.6%	108	6.4%	△15	△14.3%	△21.6%
グローバル	1,138	56.3%	926	55.0%	+212	+22.9%	+13.6%

(億円)	15/12期	15/3期	前年差	前年比
のれん等償却前 営業利益	47	△11	+59	—
営業利益	23	△35	+58	—
利益率	2.0%	△3.7%	+5.7ポイント	

注 組織改革に伴い従来の「グローバル事業」を再編し、これに合わせて報告セグメントの区分方法を変更している。
詳細は補足1参照。

海外 2015年度第1四半期（1～3月）及び第2四半期（4～6月）の総括

地域	売上前年比 (外貨前年比)	内容
中国	【第1四半期】 +26.7% (+12.8%)	(+) 「クレ・ド・ポー ボーテ」、 グローバルブランド「SHISEIDO」など、 プレステージブランドの好調 (+) Eコマースの好調
	【第2四半期】 前年を下回る	(△) 代理商との取引制度改定 (△) 専門店や代理商の在庫縮減

注 本資料における第2四半期の売上増減は、速報値を簡易的に集計したものであるため、連結決算で開示される実際の地域別売上の外貨ベース前年比とは内容が異なる可能性があります。



「クレ・ド・ポー ボーテ」カウンター



SHISEIDO「アルティミューン」

海外 2015年度第1四半期（1～3月）及び第2四半期（4～6月）の総括

地域	売上前年比 (外貨前年比)	内容
アジア	【第1四半期】 +21.8% (+12.5%)	(+) トラベルリテール事業の好調 (+) 「アルティミューン」の好調継続
	【第2四半期】 前年を上回る	(+) トラベルリテール事業の好調 (+) グローバルブランド「SHISEIDO」の 新サンスクリーン好調

注 本資料における第2四半期の売上増減は、速報値を簡易的に集計したものであるため、連結決算で開示される実際の地域別売上の外貨ベース前年比とは内容が異なる可能性があります。



トラベルリテール

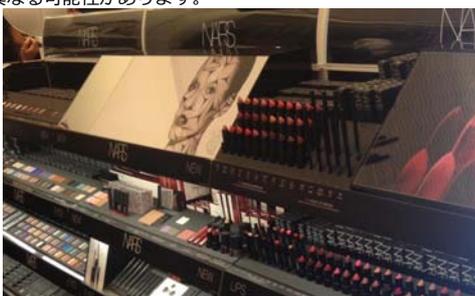


「パーフェクト UVプロテクションN」

海外 2015年度第1四半期（1～3月）及び第2四半期（4～6月）の総括

地域	売上前年比 (外貨前年比)	内容
米州	【第1四半期】 +35.6% (+19.0%)	(+) 「NARS」やフレグランスの好調 (+) 「ベアミネラル」の「Complexion Rescue」発売 (+) 前年のアメリカ物流センターの 出荷トラブルの反動影響
	【第2四半期】 前年を下回る	(+) 「NARS」の好調 (△) 「ベアミネラル」前年大型新製品の反動影響

注 本資料における第2四半期の売上増減は、速報値を簡易的に集計したものであるため、連結決算で開示される実際の地域別売上の外貨ベース前年比とは内容が異なる可能性があります。



「NARS」カウンター



「ベアミネラル」 Complexion Rescue」

海外 2015年度第1四半期（1～3月）及び第2四半期（4～6月）の総括

地域	売上前年比 (外貨前年比)	内容
欧州	【第1四半期】 +9.9% (+12.4%)	(+) ロシア、スペインでのグローバルブランド「SHISEIDO」の好調 (+) フレグランスの好調 (△) ドイツなどの苦戦
	【第2四半期】 前年並み	(+) イタリアの好調 (+) グローバルブランド「SHISEIDO」の新サンスクリーンのヒット (△) ドイツ、スペインの苦戦

注 本資料における第2四半期の売上増減は、速報値を簡易的に集計したものであるため、連結決算で開示される実際の地域別売上外貨ベース前年比とは内容が異なる可能性があります。



「ISSEY MIYAKE」



「narciso rodriguez」

中国 2015年度下期（7～12月）の取り組み

～2015年度上期

2015年度下期

事業構造改革

詳細分析

実行計画立案

- ・ブランドセグメンテーションプロジェクト
- ・BC*モチベーションアップ施策
- ・チャネル政策の見直し

流通在庫水準の適正化

コスメティクス営業改革

- ・中国の地域本社機能の再編
- ・エリア機能の強化
- ・付加価値の高いBC活動の実現

ブランドの改革



- ✓ 「オペレ」タイムロックラインリニューアル
- ✓ イメージカラーを統一

リブランディング

デジタルビジネスの強化

- ・マネジメント体制の強化
- ・ECチームの拡大

中国 2015年度下期（7～12月）の取り組み

～2015年度上期

2015年度下期

事業構造改革

詳細分析

コスメティクス営業改革

- ・中国の地域本社機能の再編
- ・エリア機能の強化
- ・付加価値の高いBC活動の実現

実行計画立案

- ・ブランドセグメンテーションプロジェクト
- ・BC*モチベーションアップ施策
- ・チャネル政策の見直し

ブランドの改革



- ✓ 「オペレ」タイムロックラインリニューアル
- ✓ イメージカラーを統一

リブランディング

流通在庫水準の適正化

デジタルビジネスの強化

- ・マネジメント体制の強化
- ・ECチームの拡大

| 12

貸借対照表

(億円)	15/6末	増減	(対15/3末)	
			為替除く	為替
流動資産	4,040	△111	△37	△74
現預金・有価証券	1,224	+5	+16	△11
売上債権	1,204	△115	△78	△37
たな卸資産	1,129	+62	+83	△21
固定資産	3,986	△100	△80	△20
有形固定資産	1,341	△29	△21	△8
無形固定資産	1,644	△27	△24	△4
投資その他	1,001	△43	△35	△8
資産計	8,026	△211	△117	△94

(億円)	15/6末	増減	(対15/3末)	
			為替除く	為替
負債	3,946	△197	△158	△39
仕入債務・未払金	954	△4	+14	△19
未払法人税等	97	△65	△62	△3
賞与引当金	99	△71	△69	△2
有利子負債	1,096	+27	+27	△1
退職給付に係る負債	766	△11	△7	△4
純資産	4,080	△14	+42	△55
株主資本	3,513	△0	—	—
その他包括利益累計額	334	△21	—	—
負債・純資産計	8,026	△211	△117	△94

使用為替レート

2015/6末 (2015/3末) : US\$120.3円、€130.4円、中国元19.4円
 2015/3末 (2014/12末) : US\$120.5円、€146.5円、中国元19.3円

自己資本比率 47.9%
 有利子負債比率 21.2%

注 主要な勘定科目のみ

| 13

2015年度 上期見通し

(億円)	第1四半期		第2四半期		上期		4月発表 見通し差
		前年比		前年比		前年比	
売上高	2,023	+20%	2,097	+6%	4,120	+13%	+220
国内	920	+16%	1,030	+11%	1,950	+13%	+80
海外	1,103	+24%	1,067	+2%	2,170	+12%	+140
営業利益	130	+858%	△30	(96)	100	△9%	+70
経常利益	136	+841%	△26	(101)	110	△4%	+80
特別損益	20	+199%	5	△97%	25	△88%	+35
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	37	(△18)	△22	(264)	15	△94%	+50

海外売上高比率 52.7%

() は前年実績

営業利益率 2.4%

為替レート ドル=120.2円 (+17%)、ユーロ=134.2円 (△4%)、中国元=19.3円 (+16%) | 14

2015年度 通期見通し

(億円)	15/12期		4月発表 見通し差	調整後* 15/3期	調整後 前年比	調整後 外貨 前年比
		構成比				
売上高	7,650	100%	+350	6,775	+13%	+8%
国内	2,930	38.3%	+80	2,659	+10%	+10%
海外	4,720	61.7%	+270	4,116	+15%	+6%
営業利益	300	3.9%	+20	212	+41%	
経常利益	305	4.0%	+25	228	+34%	
特別損益	15	0.2%	+35	163	△91%	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	110	1.4%	+10	275	△60%	

ROE 2.8%

為替レート ドル=120円 (+13%)、ユーロ=134円 (△5%)、中国元=19.3円 (+12%)

配当 中間10円、期末10円、年間20円

* 2015年度 (2015年12月期) は変則決算期のため、2014年度 (2015年3月期) を同一期間に調整(国内9カ月、海外12カ月ベース) | 15

「VISION 2020」達成に向けての進捗



ブランドポートフォリオの強化



コスト構造改革の成果を
マーケティング・イノベーション投資へ

SHISEIDO

グローバルマーケティングカンパニー
実現に向けた 6地域本社体制の導入

SHISEIDO

補足1 事業別セグメント 売上高・営業利益 第1四半期実績

(億円)		15/12期	15/3期	前年差	前年比
日 本		826	719	+108	+15.0%
グ ロ ー バ ル		1,138	926	+212	+22.9%
そ の 他		59	39	+19	+49.0%
売 上 高		2,023	1,684	+339	+20.2%
日 本		91	40	+50	+124.8%
グ ロ ー バ ル		23	△35	+58	—
そ の 他		17	8	+9	+111.7%
全 社 ・ 消 去		0	△0	+0	—
営 業 利 益		130	14	+117	+857.6%

注 2016年12月期よりスタートする新組織体制に向けて、当第1四半期連結会計期間から事業セグメントの区分方法を一部見直し、報告セグメントを「国内化粧品事業」「グローバル事業」から、「日本事業」「グローバル事業」に変更した。それに伴い、従来「国内化粧品事業」に含まれていた一部子会社等は「グローバル事業」「その他」に組替えを行っている。また、各セグメントの経営成績の実態をよりの確に把握することを目的に、一部の費用の配分方法を変更している。なお、前第1四半期実績も変更後の区分方法および配分方法により作成している。

| 18

補足2 地域別売上高 第1四半期実績

(億円)	15/12期		15/3期		前年差	前年比	外貨 前年比
		構成比		構成比			
国 内	920	45.5%	795	47.2%	+125	+15.7%	+15.6%
中 国	313	15.5%	247	14.7%	+66	+26.7%	+12.8%
ア ジ ア *	164	8.1%	135	8.0%	+29	+21.8%	+12.5%
米 州	363	18.0%	268	15.9%	+95	+35.6%	+19.0%
欧 州	262	12.9%	239	14.2%	+24	+9.9%	+12.4%
海 外 計	1,103	54.5%	888	52.8%	+214	+24.1%	+14.5%
合 計	2,023	100%	1,684	100%	+339	+20.2%	+15.0%

* 中国除く

| 19

補足3 売上原価および販売管理費 第1四半期実績

(億円)	15/12期		増減 + : コスト減	前年比	為替 影響額	為替影響を 除く増減 + : コスト減
	売上比	率差 (+低下)				
売上原価	485	24.0%	△90	+22.9%	△28	△63
販売管理費	1,408	69.6%	△132	+10.4%	△57	△75
(国内)	677	73.5%	△37	+5.7%	—	△37
(海外)	731	66.3%	△95	+15.0%	△57	△38
Mコスト	462	22.8%	△69	+17.7%	△17	△53
人件費	554	27.4%	△30	+5.7%	△22	△8
経費	367	18.2%	△32	+9.5%	△15	△17
M&A関連償却費	25	1.2%	△1	+4.4%	△3	+2

注 従来、経費に区分していた「カウンター償却費」をMコストに、「販売業務分担金」を人件費に組み替えている。なお、前第1四半期実績も同様の組み替えをしている。

| 20

補足4 販売管理費（国内・海外内訳） 第1四半期実績

(億円)		15/12期	15/3期	増減 + : コスト減	前年比	為替影響額	為替影響を 除く増減 + : コスト減
Mコスト	国内	204	173	△30	+17.5%	—	△30
	海外	258	219	△39	+17.8%	△17	△22
	Mコスト	462	393	△69	+17.7%	△17	△53
人件費	国内	270	276	+6	△2.2%	—	+6
	海外	284	248	△36	+14.5%	△22	△14
	人件費	554	524	△30	+5.7%	△22	△8
経費	国内	204	191	△12	+6.4%	—	△12
	海外	164	144	△19	+13.5%	△15	△4
	経費	367	336	△32	+9.5%	△15	△17
M&A関連償却費	国内	0	0	+0	△0.0%	—	+0
	海外	24	23	△1	+4.5%	△3	+2
	M&A関連償却費	25	24	△1	+4.4%	△3	+2
合計	国内	677	641	△37	+5.7%	—	△37
	海外	731	635	△95	+15.0%	△57	△38
	合計	1,408	1,276	△132	+10.4%	△57	△75

注 従来、経費に区分していた「カウンター償却費」をMコストに、「販売業務分担金」を人件費に組み替えている。なお、前第1四半期実績も同様の組み替えをしている。

| 21

当資料の記載内容のうち、歴史的事実でないものは、資生堂の将来に関する見通しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは、記載の見通しとは異なる可能性があります。